

**CASBEE-建築(新築)2014年版**  
**(仮称)ファミリー製菓久里浜工場**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.01)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.5</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.33</b>					<b>3.0</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.6</b>	0.15					2.6
1.1 騒音		3.0	0.40					
1.2 遮音		3.0	0.40					
1 開口部遮音性能		3.0	0.60					
2 界壁遮音性能		3.0	0.40					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音		1.0	0.20					
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.3</b>	0.35					2.3
2.1 室温制御		2.5	0.50					
1 室温		3.0	0.38					
2 外皮性能		1.0	0.25					
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38					
2.2 湿度制御		1.0	0.20					
2.3 空調方式		3.0	0.30					
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.5</b>	0.25					3.5
3.1 昼光利用		4.2	0.30					
1 昼光率	事務室の昼光率2.645%	5.0	0.60					
2 方位別開口								
3 昼光利用設備		3.0	0.40					
3.2 グレア対策		3.0	0.30					
1 昼光制御		3.0	1.00					
3.3 照度	全般照明で500Lx以上を確保している(事務室)	4.0	0.15					
3.4 照明制御		3.0	0.25					
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.9</b>	0.25					3.9
4.1 発生源対策		4.0	0.50					
1 化学汚染物質	内装材はF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している	4.0	1.00					
4.2 換気		3.0	0.30					
1 換気量		3.0	0.33					
2 自然換気性能		3.0	0.33					
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33					
4.3 運用管理		5.0	0.20					
1 CO <sub>2</sub> の監視		-						
2 喫煙の制御	喫煙室を設けている(専用排気、室内は負圧に保たれている)	5.0	1.00					
<b>Q2 サービス性能</b>			<b>0.30</b>					<b>3.0</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.6</b>	0.40					2.6
1.1 機能性・使いやすさ		2.0	0.40					
1 広さ・収納性		3.0	0.33					
2 高度情報通信設備対応		2.0	0.33					
3 バリアフリー計画		1.0	0.33					
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30					
1 広さ感・景観		3.0	0.33					
2 リフレッシュスペース	執務スペースの1%以上のレストスペース(食堂)を設け自販機設置	5.0	0.33					
3 内装計画		1.0	0.33					
1.3 維持管理		3.0	0.30					
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50					
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.1</b>	0.30					3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.5	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外露出ダクトはガルバリウムダクトなど長寿命化を図っている	4.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管:塩ビライン鋼管(VLP)及び硬質塩化ビニル管(VP)⇒B 汚水雑排水管:硬質塩化ビニル管(VP)⇒B 給湯管:一般配管用ステンレス鋼管(SUS)⇒C 上位3種の内2種類以上にB以上を使用、Eは不使用。	5.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

<b>2.4 信頼性</b>			<b>2.8</b>	0.20			
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	
<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.6</b>	0.30			<b>3.6</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>4.0</b>	0.30			
1	階高のゆとり	平均階高 3.73m	4.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ	1階の壁長さ比率0.11	4.0	0.40		-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>		工場:4,000N/㎡を想定	<b>4.0</b>	0.30			
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40			
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.37			<b>1.7</b>
1	生物環境の保全と創出		1.0	0.30		-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮		2.0	0.40		-	2.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>2.0</b>	0.30			<b>2.0</b>
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-			<b>3.3</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40			<b>3.6</b>
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPIm 0.89	4.0	0.06		-	4.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.12		-	3.0
<b>3 設備システムの高効率化</b>		BEIm 非住宅 0.82 住宅(専有部) -	<b>4.0</b>	0.59			<b>4.0</b>
集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEIm 0.82	4.0	1.00		-	
集合住宅の評価(3c)						-	
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.23			<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.0</b>	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
集合住宅の評価						-	
4.1	モニタリング					-	
4.2	運用管理体制					-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30			<b>3.2</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.20			<b>3.4</b>
1.1	節水	節水型便器を採用	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			<b>3.0</b>	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.1</b>	0.60			<b>3.1</b>
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.11		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22		-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	外構:グリーン調達品目 路盤材 再生骨材等(NO.13「土木製品」)	3.0	0.22		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	鉄骨造で内外装は乾式工法を採用	4.0	0.22		-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.3</b>	0.20			<b>3.3</b>
3.1	有害物質を含まない材料の使用	化学物質排出管理促進法の対象物質を含まない建材を2種使用	4.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			<b>3.0</b>	0.70			
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30			<b>3.2</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		LCGCO2排出率 87%	<b>3.5</b>	0.33			<b>3.5</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33			<b>3.0</b>
2.1 大気汚染防止			<b>3.0</b>	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			<b>3.0</b>	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			<b>3.2</b>	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制	自転車置場、駐車場の確保、搬入出荷捌きスペースを設けている	4.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.1</b>	0.33			<b>3.1</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40			
1	騒音		3.0	1.00		-	
2	振動		-	-		-	
3	悪臭		-	-		-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制					-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>3.7</b>	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告照明は行っていない	4.0	0.70		-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	